



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月26日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL <http://www.artspark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 匡人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 星 和彦 (TEL) 03-3710-2985
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	1,152	—	235	—	231	—	203	—
24年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 272百万円(—%) 24年12月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年12月期第1四半期	30	63	30	63
24年12月期第1四半期	—	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	4,405	58.9	2,617	58.9	—	—
24年12月期	4,024	57.7	2,349	57.7	—	—

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 2,595百万円 24年12月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	—	0.00
25年12月期	—	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	—	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,750	—	△83	—	△87	—	△89	—	△13	41
通期	3,700	—	100	—	95	—	90	—	13	56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期1Q	6,635,570株	24年12月期	6,635,570株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	425株	24年12月期	275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期1Q	6,635,226株	24年12月期1Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社は、平成24年4月2日付で株式会社セルシスと株式会社エイチアイの経営統合に伴い、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されたため、平成24年12月期第1四半期実績は記載しておりません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、平成24年4月2日設立のため、前第1四半期連結累計期間に係る記載はしていません。また、決算数値の前年同期との対比は行っていません。

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年3月31日）における当社グループを取り巻く事業環境を見渡しますと、パーソナルコンピューター以外でのポータブルなネット接続機器の多様化や、デジタルカメラをはじめとする家電、車載機器、電子看板、店舗での操作端末など実用機器でのグラフィクス表示機能の技術が著しく進歩しており、一般への普及も進んでおります。今後、デジタルグラフィクスの制作から利用に関する技術とサービスや、利便性の高いデジタル機器のユーザーインターフェースの提供は、より一層社会的に重要な基幹活動の一つになっていくものと予想されます。

このような状況の下、当社グループは「デジタル“ものづくり”」の応援と支援を経営理念に掲げ、デジタルによるコンテンツの制作と利用が一般に普及する社会において、引き続き重要なポジションを担い続けられるよう、当社グループの強みであるグラフィクス関連技術とサービス開発の相乗効果を最大限に活かした事業活動を推進しております。

携帯端末市場の中心がスマートフォンへと急速に移行していく中で、当社グループは事業モデルが転換期にさしかかっており、かかる変化を新たな成長機会として捉え、中長期的に企業価値を継続的に向上させる目的で、事業構造改革を進めており、平成25年12月期については、通期での黒字化を実現すべく、コスト削減と利益率の向上を目指す一方で、戦略投資事業における投資の成果としてのソリューションの強化を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、一部事業セグメントの収益が集中する傾向にある四半期であることに加え、第2四半期以降に計画していた利益率の高いライセンス収入が前倒しで当第1四半期連結累計期間に計上されることとなりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は1,152,398千円、営業利益は235,678千円となりました。経常利益につきましては231,898千円、四半期純利益は203,291千円となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメント区分の変更又は名称の変更を行っております。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業は、セグメント区分の変更及び名称の変更を行っております。

当社グループのグラフィクス技術による、総合的なコンテンツ関連ソリューション提供を強化するため、従来の電子書籍サポート事業に加え、クリエイターサポート事業における法人向けグラフィクス関連活動を再編し、ロイヤリティ収入と業務受託収入が移行しております。

セグメント区分の変更に伴い、セグメント名称を「電子書籍サポート事業」から「コンテンツソリューション事業」へ変更しております。

電子書籍ソリューションの中心である携帯電話市場におきましては、平成25年3月末で国内携帯電話加入契約数が1億3,172万台（前年比6.1%増）となっております。（社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より）

また、スマートフォンの状況は、2012年度の出荷台数が2,898万台（前年比19.9%増）に拡大し、総

出荷台数に対するスマートフォン出荷台数比率は71.0%になると見込まれております。(株式会社MM総研発表より)

このような経営環境の中、Android端末向け総合電子書籍ビューア「BS Reader」のダウンロード数は、当第1四半期連結累計期間において200万ダウンロードとなっております。

以上の結果、コンテンツソリューション事業につきましては、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進する電子書籍ソリューションの売上高が305,013千円、グラフィクスソリューションの売上高が26,669千円となり、当事業合計の売上高は331,682千円、営業利益は25,030千円となりました。

<クリエイターサポート事業>

クリエイターサポート事業は、セグメント区分の変更をしております。

法人向けのロイヤリティ収入と業務受託収入をコンテンツソリューション事業へ移行しております。

クリエイターをトータルに支援するクリエイターサポート事業には、グラフィクスコンテンツ制作における新製品「CLIP STUDIO」シリーズや、従来のイラスト制作ソフトウェア「ILLUST STUDIO」、マンガ制作ソフトウェア「ComicStudio」シリーズ、アニメ制作支援ソフトウェア「RETAS STUDIO」等の販売と、インターネットを通じて、イラスト、マンガ、アニメ、小説を制作するクリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」のユーザーからの課金収入が属しております。

当第1四半期連結累計期間には、高機能を搭載した「CLIP STUDIO PAINT EX」のパッケージ版をリリースしたこと等も影響し、「CLIP」の登録者数は平成25年3月末時点で28万人となり、月次約3%のペースで会員を増やしております。また「CLIP STUDIO」シリーズへの継続した開発投資や新製品立上げ対応も実施しております。

以上の結果、売上高は145,709千円、営業損失は33,645千円となりました。

クリエイターサポート事業では、グラフィクスコンテンツの制作支援ツール、デバイス、サービスの提供を通じて、グラフィクスコンテンツサービスの制作・流通を支援する基幹プラットフォームとしての収益力強化に引き続き注力してまいります。

<UI/UX事業>

従来のミドルウェア事業につきましては、UI/UX（ユーアイ/ユーエックス）事業に名称を変更しております。

UI/UX事業とは、ユーザーと機器並びにソフトウェアとの間で接点となり、相互がやり取りをするための一連の要素であるUI（ユーザーインターフェース）と、機器やソフトウェアを通じて得られる楽しさや気持ちよさ等の体験であるUX（ユーザーエクスペリエンス）とを一体として考え、デザインとソリューション提供から実装開発までをトータルで行う事業です。

UI/UX事業は、車載機、デジタルカメラ、業務用カラオケ機器等を中心に事業を拡大してまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、UI/UX事業の収益が集中する傾向にある四半期であることに加え、第2四半期以降に計画していたライセンス収入が前倒しで収益計上されたこと等により、売上高は597,464千円となりました。利益率の高いライセンス収入が前倒しで計上されたことにより、営業利益は226,748千円となりました。

<アプリケーション事業>

通信キャリアやサービス事業者、ゲーム開発会社等に対して、サービス運営や受託開発を行うアプリケーション事業では、事業構造改革の一環として事業規模の縮小を進めております。その結果、売上高は77,541千円、営業利益は4,490千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,405,006千円となりました。うち、流動資産は2,410,670千円であり、主な内容は現金及び預金1,351,889千円であります。また、固定資産は1,984,595千円であり、主な内容はソフトウェア848,475千円、投資有価証券706,051千円であります。

当第1四半期連結会計期間末における総負債は、1,787,723千円となりました。うち、流動負債は1,163,732千円であり、固定負債は623,991千円であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,617,282千円となりました。なお、自己資本比率は、58.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年2月1日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,294,740	1,351,889
売掛金	561,478	637,684
製品	48,491	41,298
仕掛品	24,655	121,870
原材料及び貯蔵品	119,232	132,804
その他	120,371	137,987
貸倒引当金	△10,389	△12,862
流動資産合計	2,158,580	2,410,670
固定資産		
有形固定資産		
建物	112,413	113,436
減価償却累計額	△70,618	△72,363
建物(純額)	41,794	41,073
工具、器具及び備品	266,008	267,685
減価償却累計額	△237,737	△241,915
工具、器具及び備品(純額)	28,270	25,770
有形固定資産合計	70,065	66,843
無形固定資産		
ソフトウェア	885,915	848,475
ソフトウェア仮勘定	25,766	77,091
のれん	34,955	33,207
その他	32,606	33,823
無形固定資産合計	979,243	992,598
投資その他の資産		
投資有価証券	599,132	706,051
敷金及び保証金	188,094	187,377
その他	19,474	31,724
投資その他の資産合計	806,700	925,153
固定資産合計	1,856,010	1,984,595
繰延資産	10,349	9,740
資産合計	4,024,940	4,405,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,305	182,139
短期借入金	190,000	290,000
1年内返済予定の長期借入金	248,576	250,660
未払法人税等	4,271	21,390
返品調整引当金	3,775	2,979
受注損失引当金	—	9,168
関係会社清算損失引当金	10,844	10,844
事業構造改革引当金	81,133	34,446
その他	313,512	362,105
流動負債合計	1,022,418	1,163,732
固定負債		
長期借入金	474,391	418,497
退職給付引当金	76,593	65,154
繰延税金負債	102,481	140,339
固定負債合計	653,465	623,991
負債合計	1,675,884	1,787,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,867,600	479,126
利益剰余金	△658,100	933,664
自己株式	△71	△108
株主資本合計	2,209,429	2,412,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,127	182,357
その他の包括利益累計額合計	113,127	182,357
新株予約権	26,499	22,242
純資産合計	2,349,056	2,617,282
負債純資産合計	4,024,940	4,405,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,152,398
売上原価	590,573
売上総利益	561,824
返品調整引当金戻入額	3,775
返品調整引当金繰入額	2,979
差引売上総利益	562,620
販売費及び一般管理費	326,941
営業利益	235,678
営業外収益	
受取利息	182
為替差益	1,881
その他	263
営業外収益合計	2,327
営業外費用	
支払利息	2,414
持分法による投資損失	2,150
その他	1,542
営業外費用合計	6,107
経常利益	231,898
特別利益	
新株予約権戻入益	4,256
特別利益合計	4,256
特別損失	
支払和解金	7,600
投資有価証券評価損	4,148
特別損失合計	11,748
税金等調整前四半期純利益	224,407
法人税等	21,116
少数株主損益調整前四半期純利益	203,291
四半期純利益	203,291

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	203,291
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	69,229
その他の包括利益合計	69,229
四半期包括利益	272,520
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	272,520
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	331,682	145,709	597,464	77,541	1,152,398	—	1,152,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	340	980	1,321	△1,321	—
計	331,682	145,709	597,805	78,522	1,153,719	△1,321	1,152,398
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	25,030	△33,645	226,748	4,490	222,623	13,055	235,678

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「ミドルウェア事業」から「UI/UX事業」へ名称を変更しております。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであります。

また、従来「クリエイターサポート事業」に含まれていたソフトウェアに係るロイヤリティ収入を「電子書籍サポート事業」と統合し、「コンテンツソリューション事業」といたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成25年3月開催の定時株主総会決議により、利益剰余金の欠損填補を行い、資本剰余金のうち1,388,473千円を減少し、資本剰余金は479,126千円となっております。